



発行所
十勝毎日新聞社

〒080-8688

帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121

編集局 0155-22-2121

広告局 0155-23-2323

販売局 0155-24-2222

事業局 0155-22-7555

総務局 0155-24-2299

広尾支局 01558-2-4111

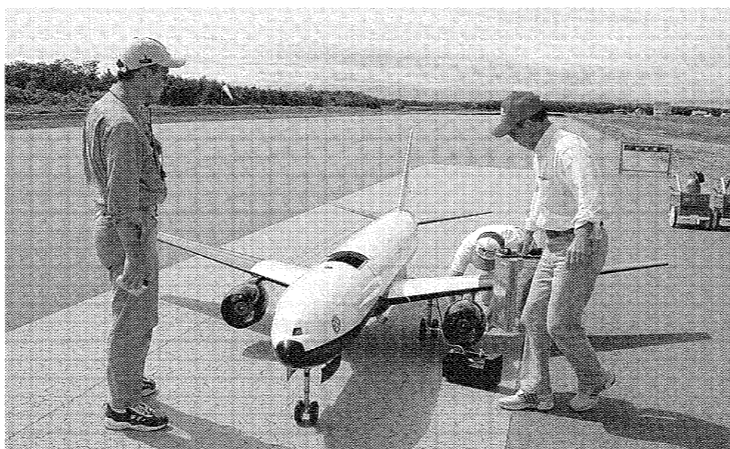
池田支局 01557-2-2367

本別支局 01562-2-2618

新得支局 01566-4-5524

札幌支社 011-261-2161

東京支社 03-3544-1365



NALの音源探査試験で使われた大型の無人ラジコンジェット機。大きさは商用航空機の16分の1

大樹でNAL 音源探査試験を開始 全長4メートルの実験機使用

【大樹】無人のラジコンジェット機を計測機器の上に無線操縦で飛ばし、機体から発せられる音源を探査する試験が5日、大樹町の多目的航空公園で始まった。独立行政法人航空宇宙技術研究所

(NAL、本部東京)が、昨年に続き実施。航空機の騒音軽減に向け、計測技術を確立してデータを得るのが狙い。今回の実験で初めて使われた機体は全長4メートル、昨年(1.8メートル)より大型。双発(両翼にエンジン1基ずつ搭載)で、商用の航空機とほぼ同型となった。

実験にはNALの航空推進研究センター・クリンエンジン技術グループに所属するメンバーら5人などが参加した。計測機器は滑走路上に設置。その上方にジェット機を水平に通過させ、機体やエンジンなどから発せられる音を計測する。10日まで行われる。

同グループの石井達哉主任研究員によると、今回は音響を計測するマイクホンなどの装置はより高性能で大型化。高音だけでなく、低音も計測可能となった。このほか超音波や画像(機体にカメラを搭載し、地上に送信)など、複数のデータを同時に把握できるように工夫した。

大型ジェット機は、商用機の16分の1の大きさ。繊維強化プラスチック製で重量は約40キロ。ジェット燃料で10分間の飛行が可能だ。1回目の試験では、地上から計測器の上方約5〜10メートルを時速150キロで通過後、旋回させる作業を5回繰り返した。

このほか昨年用いた単発(胴体後方にエンジンを1つ搭載)の小型ジェット機や小型ヘリコプ

ターでも同じ試験を行う。(浅井文人)